

# X SERIES Racing Performer

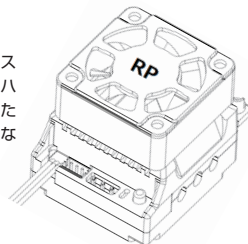
# RPX II

## BRUSHLESS SPEED CONTROLLER

### Racing Performer X Series RPX II 取扱説明書

## 1. イントロダクション

この度はYOKOMOの製品をご購入いただきありがとうございます。コンペティションブラシレスESC「RPXII」は、現存する様々なESCの中でも最高のスペックを有する製品です。この製品はハイテク機能が搭載されており、市場で入手できる最高仕様のESCとなります。不適当に使用されたり、独自に改造されたりすると、非常に危険です。これらの行為は周辺製品およびデバイスに重大な損害を与える可能性がありますので、ご使用前にこちらのマニュアルをよくお読みください。



## 2. 注意事項

- 短絡を避けるために、ESCの配線や接続が保護されており周辺機器と接触していない事を確認してください。
- 使用する前にパワーデバイス/シャーシの使用説明を十分に理解し、動作範囲を確認してください。
- すべての入出力線および接続部のはんだ付けには、60W以上のはんだごてを使用してください。
- ESCを湿度、水分、油分などから守るためにすべての乾燥した作業環境でご使用ください
- 製品の換気と、過熱に注意してください
- 使用後は、ESCをバッテリーから取り外してください

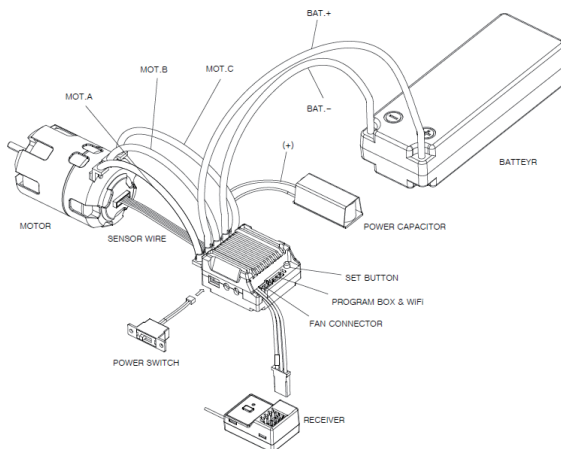
## 3. 特徴

- フルアルミケースとヒートシンク設計
- モディファイドおよびストック互換仕様
- 優れたソフトウェアにより、通信アルゴリズムの変更やハードウェアのアップグレードによってモーターの温度を下げ、スピードも向上させました。
- 新しいターボ/3種のブースタiming設定と遅延時間設定
- 新しいブレーキ応答モードとPWM/ブレーキ周波数を個別に設定することで、様々な種類のレースに応じたコントロールが可能になりました。
- ESCの設定変更はプログラムボックスまたはWiFiモジュールにて個別プログラムポートにて可能
- 新しいWiFiモジュールを使用して、プログラムパラメータを設定し、ファームウェアをアップグレードできます。また、温度、電流、電圧、RPM、バッテリー消費量などのESCおよびモーターデータは、すべてデータログにリアルタイムで保存することができます。
- 最先端のFETと低抵抗の電源を使用したPCB設計
- 30mmファンを使用した最大限の冷却

## 4. スペック

Pure Brushless Competition	yes	Plugged 30x30x10mm Fan	yes
Motor Limit	>3.0T	BEC Output	6V,7.4V / 6A Linear
Operating voltage	3.7-7.4V	Multi-Protection-System	yes
Forward / Brake / Reverse	yes	"Boost 0 " Mode	yes
Full aluminum case / heatsink	yes	Multi-frequency system	yes
Typ. Voltage Drop @20A per phase	0.0048V	Power Wires	12Awg
Rated Current per phase	2449A	Case Size(without fan)	32.9 x 34.6 x 19.60mm
USB Software Updateability	yes	Weight(without cable)	44g

## 5. 接続図



### ■ 注意

最高の性能を発揮するために、コネクタのない黒色のシリコンワイヤーを12AWGワイヤーに採用しました。バッテリーおよびモーターワイヤーをソルダーバーにはんだ付けするには、最低でも60Wの半田ゴテのご使用をお勧めします。5秒以上のはんだ付けは避けてください。過熱はESCに損傷を与える可能性があります。付属のチューブで短絡を防止し、接続後の極性を確認することができます。

### ■ モーターワイヤー接続

ESCとモーターを接続するときは、ワイヤーA / B / Cの属性をご確認ください。しかし、車種によっては、逆性の配線となる場合もあります。この場合、モーター配線設定でA-B-CからC-B-Aに切り替えることができます。また、C-B-Aに変更する場合には、C&Aは上の図のように切り替える必要があります。誤った設定と接続は重大な問題を引き起こす可能性があります。ESCがリセットされた場合、C-B-A配線設定はA-B-Cに戻りますので、再度C-B-Aに切り替えてご使用ください。次にセンサーワイヤーを6ピンセンサポートに接続します。

### ■ 電源コンデンサー

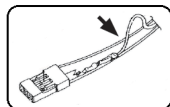
電源コンデンサーなしで使用しないでください。これは、ESCを保護するためであり、またパンチを改善するために必須です。適切な極性は極めて重要です。上図の赤線をESCの(+)に接続します。別のワイヤーをESCの(-)に接続してください。接続されるワイヤーはなるべく短くしてください。誤った接続およびはんだ付け不良は、ESCに損傷を与えます。その場合は保証の対象外となります。

### ■ バッテリーワイヤー接続

極性の確認を十分に行ってください。(+)ワイヤーがバッテリーの(+)に接続されているかどうかを確認し、(-)ワイヤーも同様に確認してください。接続が適切でない場合、ESCが確実に損傷します。こちらに起因する故障は保証の対象外となります。

### ■ レシーバーワイヤー接続

ESCのスロットルワイヤーは受信機の2CHに接続してください、白い線が信号線です。このワイヤーはレシーバーやサーボなどに6 / 7.4Vの電圧を供給しますので、レシーバーに追加バッテリーは必要はありません。外部電源がレシーバーに接続されていると、ESCが損傷する可能性があります。



#### 参考

ESC電源を使用せずに受信機に別のバッテリーを使用する場合は、図のようにBECプラグの中央の線(+)を外してください。これにより、ESCへの逆電流が防止されます。さもないければ、ESCは過熱により焼損することになります。

### ■ パワースイッチボックス

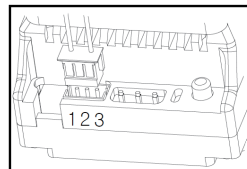
ESCの電源をオン/オフするには、電源スイッチボックスをESCの側面にあるコネクタに接続して使用します。使用しない場合には、バッテリーが接続されると直ちにESCの電源が入ります。

### ■ ファンコネクタ

冷却ファン、ネジ、ファンプロテクタは、ESC仕様毎に付属されています。

ファンマウントはヒートシンクの上部に配置されており、モディファイドや4WDオフロードなどの過酷な使用環境下においては冷却ファンを使用することを推奨します。

バッテリーパワーを使用する場合には、中央の赤いコネクタを取り外し、ポート1に接続する必要があります。この場合、ファンは常時作動となります。



## 6. 接続インストールガイド

- ESCは、コネクタやボタンに簡単にアクセスできる安全な場所に設置してください。
- 付属の両面テープでESCをしっかりと固定します。
- ESC、電源線、アンテナ/受信機の間にはある程度の距離があることを確認してください。これらの電装パーツ間の接触を避けるようにしてください。受信機とアンテナが互いに近すぎると、信号の混乱が生じる可能性があります。このような場合は、より速くに部品を再インストールしてください。

## 7. 送信機の設定

ESCを受信機に接続する前に、以下のように送信機の設定を確認してください。（デフォルトの設定）

Throttle Travel	High ATV,EPA	100%
Brake Travel	Low ATV,EPA,ATL	100%
Throttle Exponential	EXP,EXPO	Start with 0
Neutral Trim	SUB Trim	Center
Trigger	RATE Forward-Brake	F50 : B50

- ESCがバッテリーに接続されておらず、電源がオフであることを確認します。
- モーターピニオンを取り外すか、車が路面に接触していない状態でホイールが自由に回転するかどうかを確認します。

## 8. 送信機のキャリブレーション

- トランスミッターをオンにし、スロットルをニュートラルにします。
- ESCをバッテリーに接続し、スイッチをONにします。

SETボタンを3秒間押し続けます。  
緑色LEDが点滅したらボタンを離します。  
緑色LEDが点灯し、モーター音がすれば  
「ニュートラル設定完了」

赤色LEDは、スロットルを最大に前進させると点灯します。  
「加速フルポジション セーブ」

スロットルを後進側最大に戻すと、緑色と赤色LEDが点灯します。  
「ブレーキまたは逆フルポジション セーブ」

スロットルを「ニュートラルポジション」に戻してモーター音が発生、緑色と赤色のLEDが交互に点滅します。「設定終了」

- 上記の手順を経た後、ESCが使用可能となります。
- モーターがニュートラル位置で動作する場合には、保存されたニュートラル値との差があることを意味します。スロットルレンジを再調整してください。
- ESCの設定が正しく行われているかどうかの確認は、スロットルの動きに合わせたLEDの点滅で確認することができます。

	グリーンLED	レッドLED
Neutral	オン	オフ
Neutral( "BOOST OFF MODE" )	点滅	オフ
Max Acceleration	オフ	オン
Max Reverse or Brake	オン	オン

## 9.設定可能な項目

■ プログラムカードまたはWiFiモジュールを使用することにより、詳細なパラメータの設定とレーシング情報、現在のデータをチェックすることができます。モーターが接続されていない場合、プログラムカードは接続されません。前面の3ピンコネクタを使用して接続することができます。詳細については、プログラムカードおよびWiFiモジュールのマニュアルを参照してください。

	プログラム可能項目	パラメーター値	初期値
1	Select Battery	LiPo / LiFe / NiMH(NiCd)	LiPo
2	Cut Off Voltage	Disable / Auto / 3.0V ~ 7.5V(Step:0.1V)	Auto
3	Power Curve	0 ~ 10	5
4	Boost Mode	Boost Max + TB Off X X ON 0 ~ 58 0 ~ 58 +TH 0 ~ 58 0 ~ 58 +ATH 0 ~ 58 0 ~ 58	Off
5	Boost-TH. Limit	TH Limit 10,20,30,40,50,60,70,80,90,100 0 ~ 58	0
6	Boost Min-rpm	0 ~ 64500(Step: 500rpm)	5000rpm
7	Boost Max-rpm	500 ~ 65000(Step: 500rpm)	25000rpm
8	Turbo Delay	0.0 ~ 1.00s (step: 0.05s)	0.20s
9	Turbo + Slope	0.0 ~ 1.00s (step: 0.05s)	0.20s
10	Turbo - Slope	0.0 ~ 1.00s (step: 0.05s)	0.20s
11	Acceleration	0 ~ 10	5
12	Start Power	0 ~ 100(step: 1%)	0%
13	Smooth Start Rate	0 ~ 30(step: 1)	0
14	Smooth Start Range	0 ~ 75%(step: 1%)	0%
15	Voltage Limit	Off, 7.4V ~ 8.7V(step: 0.1V)	Off
16	Reverse Function	One Way / Two Way / Two Way2 / Two Way3	Two Way
17	Reverse Delay	Off / 0.2s / 0.5s / 0.8s / 1.3s / 1.8s / 2.5s	2.5s
18	M- Reverse Amount	20% ~ 100%(step: 1%)	100%
19	Neutral Width	Narrow / Normal / Wide	Normal
20	Motor Direction	Normal / Reverse	Normal
21	Brake Response	0% ~ 100%(step: 1%)	0%
22	FAN Control	Auto, On	Auto
23	Drag Brake	0% ~ 100%(step: 1%)	0%
24	Min Brake Amount	0% ~ 100%(step: 1%)	30%
25	Mid Brake Amount	0% ~ 100%(step: 1%)	50%
26	Mid Brake Location	0% ~ 100%(step: 1%)	50%
27	Max Brake Amount	0% ~ 100%(step: 1%)	100%
28	Soft Brake	Hard / Soft	Soft
29	Brake Freq	1KHz ~ 16KHz(step: 1KHz) / 32KHz	1KHz
30	Motor Freq	1KHz ~ 16KHz(step: 1KHz) / 32KHz	5KHz
31	Drag Freq	1KHz ~ 16KHz(step: 1KHz) / 32KHz	1KHz
32	Cut Off Temp	100° ~ 135° (step: 5) / Disable	135°
33	Cut Off M-Temp	100° ~ 135° (step: 5) / Disable	135°
34	B.E.C Voltage	6.0V / 7.4V	6.0V
35	Gear Ratio	2.0 : 1 ~ 15.0 : 1	2.0 : 1
36	Tire Diameter	40mm ~ 200mm	63mm
37	Motor-Wiring	A-B-C / C-B-A	A-B-C

	プログラム可能項目	パラメーター値	初期値
38	Units	Metric / English	Metric
39	Download	セットアップカード内のすべてのパラメータがESCにダウンロードされます。	-
40	Factory Setting	ESCの設定を工場出荷時のデフォルト設定に変更します。	-
41	Current Voltage	XX.X	-
42	Current Temp	0° ~ 135°	-
43	Max Temperature	0° ~ 135°	-
44	Motor Temp	0° ~ 135°	-
45	Motor Max Temp	0° ~ 135°	-
46	Max Current	0 A ~ 999 A	-
47	Maximum Speed	XXX.X km/h	-
48	Maximum RPM	XXX rpm	-
49	Error History	M, T1, T2, S, V, R	-

### ■ 1 バッテリー選択

正しいバッテリー仕様を選択することは極めて重要です。バッテリーが損傷する可能性があります。

### ■ 2 カットオフ電圧

バッテリーを保護するためにカットオフ電圧を設定することができます。

### ■ 3 パワーカーブ

スロットルカーブのパラメータはスロットルの位置に関係し、ESCの出力に影響します。初期値は「5」に設定されており、PCプログラムまたはWiFiモジュールを使用してパワーカーブを他の形状に変更する必要があります。例えば、初期部分に+EXP値を加算すると、初期出力パワーが増加し、-EXP値が加算されると、より小さいスロットルパワーとなります。

### ■ 4 ブースト Max+TB

OFF: すべてのタイミングが無効になっています。これは「ストッククラスカテゴリー」における使用際の 設定となります。このモードでは緑のLEDがニュートラルで点滅することになります。

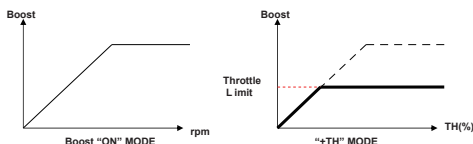
ON: モーターの速度と効率、は、ブーストタイミング設定に依存します。ブーストタイミングが大きい場合、速度は速くなり、モーター回転数に応じて出力にも影響します。この値を大きくするほど出力と回転数は増加しますが、高熱が発生します。したがって、過剰な設定はESCとモーターに致命的な問題を引き起こす可能性があります。

TB(Turbo): スロットルが100%にあるときにアクティブにする必要があります。(ブースト設定+ TB設定)がタイミングに反映されます。2つの値の合計値は116に設定できますが、上限は88です。モーターのタイミングがセンターより60°以上に設定されていると、モーターとESCが発熱する可能性があります。60以下に設定することをお勧めします。この設定は長めのストレートコースに有効です。

ATH: オートスロットル機能が設定されている場合、ブーストは回転数の影響を受けることなく、スロットル比だけで動作します。たとえば、ブーストの設定値が30で、スロットル位置が40%の場合、動作ブーストは30の40%である「12」を出力します。

### ■ 5 Boost-TH. Limit

Boostモードでは、+ THモードでスロットル位置の10ステップでタイミング制限を設定できます。以下のグラフを参照してください。



### ■ 6 ブースト Min-rpm

これは、ブーストタイミングを起動させるために必要な回転数を設定するためのものです。たとえば、ブースト開始タイミングが1000に設定されている場合、回転数が1000に達すると、タイミングをアクティブとなります。設定可能範囲は0~64500です。この値はブーストMax RPMより高く設定できません。

### ■ 7 ブーストMax-rpm

ブースト値が設定された後、rpmが設定されます。例えば、ブースト・タイミングが20度に設定され、ブースト・フィニッシュの回転数が20000に設定されている場合、ESCが20000を超えると、設定した20度のタイミング・ブーストがアクティブになります。設定可能範囲は500~65000です。この値はブーストMin-rpmの値より低く設定することはできません。

### ■ 8 ターボディレイ

スロットルが「0.00」に設定されているときにスロットルが「フル」に動かされるとすぐにターボスタートが起動され、すぐに出力されます。他の値として設定されているときは、フルスロットル位置に設定された遅延時間後にターボが作動します。

### ■ 9 ターボ + Slope

ターボが起動されたときの上がる時間を設定できます。この値が低くなると、加速と加熱が増加します。

### ■ 10 ターボ - Slope

ターボタイミングがアクティブになった後、スロットルがターボ状態から元の位置に戻る所要時間を設定できます。この値が低いと、ブレーキ効果が生じ、車両の動きは鈍くなります。

#### ■ 11 アクセルレーション

停止状態からモーター最大出力に達する時間を設定することができます。

#### ■ 12 スタートパワー

モーターの回転時の最小パワーを設定し、最小スタートパワーを設定する場合に使用します。

#### ■ 13 スムーススタートレート

モディファイドモーターはスタート時に大きな出力を発揮しますが、スタート時の強力なパワーによる車体の揺れを防ぐことができます。この機能によりブースト値を設定値に従って「-」方向に掛ける効果で、やさしいスタートが可能になります。

#### ■ 14 スムーススタートレンジ

スムーズなスタートのためのスロットルスティックの範囲を設定することができます。たとえば、50%に設定すると、スムーズなスタート機能がスロットルスティックの最大50%まで機能します。Smooth Start RateとSmooth Start Rangeのいずれかが「0」に設定されていると、この機能は動作しません。

#### ■ 15 電圧リミット

これは出力を電圧変動に対して一定に保つことで安定したレースを支援するものです。設定された電圧に基づいて、バッテリー電圧が高い場合に出力が小さく生成されます。

#### ■ 16 リバース機能

ワンウェイ：フォワード/ブレーキ

ツーウェイ：フォワード/ブレーキ/リバース。リバースディレイ後にリバースが有効になります。この遅延期時間中にブレーキが作動します。

ツーウェイ2：フォワード/ブレーキ/リバース。リバースディレイに関係なく、モーター停止時に1秒後にリバースが有効になります。進行方向は最大6〜7秒後に変更できます。

ツーウェイ3：フォワード/ブレーキ/リバース。モーターを前進させながら、スロットルスティックを後進に動かすとブレーキが作動します。スティックがそこに留まっても、リバースは作動しません。リバースを機能させるには、スロットルスティックをニュートラルに戻し、さらにリバースに入れるとリバースが機能し始めます。

#### ■ 17 リバースディレイ

リバースの際にディレイ時間を設定できます。設定されたディレイ時間を経てリバースが機能します。

#### ■ 18 M- リバース量

ドライブ中の最大リバース速度を20〜100%に設定することができます。

#### ■ 19 ニュートラル幅

ニュートラル幅を設定します。このニュートラルな幅は、送信機のニュートラル位置を決定するためのパラメータです。

#### ■ 20 モーターダイレクション

モータの正逆回転を設定します。

#### ■ 21 ブレーキレスポンス

これは、ブレーキの強さを設定できます。設定値100%で最も強い制動力を発揮します。

#### ■ 22 ファンコントロール

AUTOモードでは、ESCの温度とスロットル位置に応じて動作します。ONモードでは、常に動作します。

#### ■ 23 ドラッグブレーキ

ニュートラルポジションにおいて、僅かなブレーキ効果を生じさせるオートブレーキを設定できます。

#### ■ 24 Min Brake Amount

初期のブレーキ量を設定できます。

#### ■ 25 Mid Brake Amount

中間値のブレーキ量を設定できます。

#### ■ 26 Mid Brake Location

これは、中間値のブレーキ量の位置を設定できます。中間ブレーキ量と中間ブレーキの位置が0%に設定されている場合には無効となります。

#### ■ 27 Max Brake Amount

これは、最大ブレーキレンジを設定するためです。ブレーキを「フルブレーキ」の位置にしておいてください。

#### ■ 28 ソフトブレーキ

ブレーキパワーを「ハード」または「ソフト」に設定可能です。ストックモーターを使用する場合は、「ハード」に設定することをお勧めします。

#### ■ 29 ブレーキ周波数

ブレーキ周波数を設定できます。周波数が低い場合には大きな制御となり、周波数が高い場合には柔らかな制御になります。

#### ■ 30 モーター周波数

モーターの周波数を設定します。周波数が低い場合、初期加速度は急速に速くなります。周波数が高くなると柔らかくなりますが、ESCの発熱が大きくなります。

#### ■ 31 ドラッグ周波数

ドラッグ周波数を設定できます。周波数が低い場合、ブレーキ制御効果が高くなります。周波数が高くなると、制御効果はソフトになります。

#### ■ 32 カットオフ温度

ESCのカットオフ温度を設定できます。この機能を無効にすると、ESCを発熱から保護することができないため、この機能を無効に設定することはお勧めしません。

#### ■ 33 カットオフ モーター温度

モーターの遮断温度を設定できます。この機能を無効にすると、モーターを発熱から保護することができないため、この機能を無効に設定することはお勧めしません。

#### ■ 34 B.E.C 電圧

これは、受信機に供給される電圧を設定するためです。誤った電圧設定によりESCが損傷を受ける可能性がありますので、必ずサーボ仕様に従って使用してください。

#### ■ 35 ギヤ比

車両のギヤ比を設定できます。この設定が正しく行われていないと、最高速度が誤って表示される可能性があります。

#### ■ 36 Tire Diameter

タイヤの直径を設定できます。この設定が正しく行われていないと、最高速度が異なって表示される可能性があります。

#### ■ 37 モーターワイヤー接続

A-B-C、C-B-Aのようにモーターケーブルの接続順序を設定します。これを変更する場合には、モーターの設定と同じように変更してください。設定が間違っているとESCが損傷する恐れがあります。

#### ■ 38 ユニット

温度と速度を表示するようにユニットを変更することができます。

#### ■ 39 ダウンロード

変更された設定値はESCに保存されます。

#### ■ 40 ファクトリーセッティング

ESC設定パラメータを工場出荷時の設定に変更します。

#### ■ 41 現在Voltage

プログラム設定されているときは、現在のバッテリー電圧を確認することができます。

#### ■ 42 現在温度

プログラム設定されているときは、現在のESCの温度を確認することができます。

#### ■ 43 最大温度

プログラム設定されているときに走行中の最高温度を確認することができます。

#### ■ 44 モーター温度

プログラム設定されているときに現在のモーター温度を確認することができます。

#### ■ 45 モーター最高温度

プログラム設定されているときに走行中のモーターの最高温度を確認することができます。

#### ■ 46 最大電流

プログラム設定されているときに走行中の最大電流を確認することができます。

#### ■ 47 最高速度

走行中の最高速度を確認するための設定です。

#### ■ 48 最大回転数

走行中のモーターの最大回転数を確認するための設定です。

#### ■ 49 エラー履歴

- (R) 受信機の信号不良。
- (V) 低電圧によるESCのストップ
- (S) センサー不良
- (T1) ESC温度の問題のためESC停止
- (M) モーター接続の問題/モーターの問題/製品の損傷
- (T2) モーター温度の問題によりESC停止

## 10.エラー発生時のLED点滅

- 赤色LED1回点滅が継続の場合、受信機の信号がないことを意味します。送信機/受信機の接続部分を確認してください。
- 赤色LED2回点滅が継続の場合、低電圧カットが作動したことを意味します。
- 赤色LED3回点滅が継続の場合、モーターセンサーに問題があることを意味します。センサーケーブルの接続とモーターの状態を確認してください。
- 赤色LED4回点滅が継続の場合、ESCの温度保護機能が起動したことを意味します。
- 赤色LED5回点滅が継続の場合、PWM出力しているにもかかわらず、モーターが2秒以上動作していません。モーターの状態を確認するか、車両を確認してください。
- 赤色LED6回点滅が継続の場合、モーターの温度保護機能が起動したことを意味します。

## 11.データチェック

ESCとモーターの最大温度/電流/スピード/ rpmは、プログラムボックスまたはWiFiモジュールで確認できます。プログラムボックスを使用する場合、レース後にESCの電源をオフにはならず、プログラムボックスを接続ポートに接続してデータをチェックしてください。ESC電源がオフになると、取得データは消滅します。

## ■アフターサービスについて

ヨコモ アフターサービス部では、製品に関する質問や修理をお受けしています。  
万一、製品が故障したと思われる際はアフターサービス部にお問い合わせ下さい。

## ■修理依頼方法

### 《注意事項》

本製品を分解・改造した場合、全てのサービスをお断り致します。販売店・卸店様は製品が不良品であるとの結論を下す権限を持っていません。

※以下の場合には、初期不良扱いとならない場合がございますので予めご了承下さい。

- ・誤った取扱いの結果の故障（過負荷、ショート等）
- ・ケース分解、改造を行っている場合
- ・ケーブル交換を行っている場合

### 《修理依頼方法》

修理カードに必要事項をご記入の上、修理品に添えてお買い求めになった販売店、又はヨコモ アフターサービス部に直接お送り下さい。

### 《修理費用・期間について》

修理にかかった費用（部品、工具、返送料）はおお客様にご負担頂きます。修理にかかる費用は修理前に見積もる事が出来ませんのでご了承下さい。修理期間は通常1ヶ月以内です。修理内容によって多少異なる場合があります。修理を依頼されてから1ヶ月以上経過しても返却されない場合は、アフターサービス部にお問い合わせ下さい。

---

## ■ヨコモ 修理カード（コピーしてお使い下さい）

修理品名	BL-RPXII
ご購入店名	
お客様名	
ご住所	〒  TEL
故障状況を詳しくお書き下さい	

---

## ■お問い合わせ先

株式会社 ヨコモ アフターサービス部

〒305-0861 茨城県つくば市谷田部 4385-2 TEL : 029-896-3888 FAX : 029-896-3889

※お電話でのお問い合わせは、営業時間9時～12時、13時～17時（祝祭日を除く月～金）にお願いします。

URL <http://www.teamyokomo.com>